



町章

三芳町の片仮名「ミヨシ」を円形にデザインし、融和と団結を表すとともに、中央にはばたく鳥が図案化され、町の躍進と産業の発展を象徴しています。



町の木「けやき」

けやきは町内に多く見られ、四季を通じて情緒があり、早春の発芽の美しさは、樹形の雄大さとともに関東の風物詩となっています。限りなく大きく育つけやきは、町を象徴するにふさわしいとして、町の木に決めました。



町の花「きく」

きくは、別名をチギリグサ・モモヨグサなど長寿にちなむ名で呼ばれ、四季を通じて町内のあちこちに、豊かな趣をそなえています。町民の長寿を願うものと、春夏秋冬を見ることのできる「きく」は、町を象徴するにふさわしいとして、町の花に決めました。



町の鳥「ひばり」

ひばりは、四季を通じて生息する鳥で、古くから私たちの生活とはなじみが深いものです。都市化の進むなかにあつて、折に触れその鳴き声を耳にすると、心のやすらぎを感じ、かつての武蔵野が偲ばれます。

みらいくん

三芳生誕100年を記念し、1989年に町のキャラクターとして誕生。1989年に三芳町に在住している方々から名称を募集したところ250点もの応募がありました。その中から三芳の未来を創るマスコットということで「みらいくん」と名付けられました。みらいくんは「水の精」で一滴の「水のしずく」がやがて流れとなり、川となって大海にそそぐ、その自然界の源ともいべき「しずく」、そしてすべての生命の源でもある「しずく」のいきいきとした躍動感を表したものです。



マスコットキャラクター

のぞみちゃん

町制施行40周年を記念し、2010年にみらいくんのガールフレンドとして誕生。みらいくんと一緒に三芳町のために様々な場面で活躍中。2010年に三芳町に愛着のある方々から名称を募集したところ533点もの応募がありました。その中から町の豊かな大地で生まれた生命が、やがて大きな実りをもたらすことをイメージし、町の未来が希望に満ちたものになることを願い「のぞみちゃん」と名付けられました。

おわりに

村から町へ～お陰様で50年。

三芳町が町制を施行した昭和45年、日本は高度経済成長の真っただ中にありました。純農村地域であった当町も、昭和40年代から首都近郊のベッドタウンとして、また、首都圏の流通基地として目覚ましい変貌を遂げたことで人口が急増し、現在は美しい緑と自然が残る農工商のバランスのとれた町として今日に至っています。

この記念誌は、この地を開拓し継承してきた先人たちの思いや伝統を大切にしながら、未来の世代に残したい伝えたい町の魅力をまとめたものです。

「念ずれば花ひらく」(坂村真民)という詩があります。これまで多くの町民の皆様のご願いと思いが多くの花を町に咲かせてきました。これからも町の発展と町民の皆様のご幸せを願い、たゆまぬ努力を続け、次の100周年に向けて大輪の花を咲かせられるよう邁進してまいります。そして子どもからお年寄りまで夢と希望を持てる魅力あふれるまちづくりを、これからも町民の皆様とともに進めてまいります。

ご登場いただいた皆様にあらためて厚く御礼申し上げますとともに、本誌が町民の皆様のご更なる郷土愛の醸成に繋がり、また、町外の皆様にも町の良さを知って頂ければ幸いです。

Conclusion

From a Village to a Town: the grace of 50 years.

When Miyoshi attained its townhood in 1970, Japan was in the midst of high economic expansion. Our town, then an untouched rural area, has witnessed great changes and a rapid increase in population due to its remarkable transformation as a commuter town located near the suburbs of the capital from the mid-1960s to mid-1970s and as a distribution base in the metropolitan area. It is now a town characterized by a balance of agriculture, industry, and commerce, while retaining its greenery and natural beauty.

This commemorative publication presents Miyoshi's charms, which we hope to pass on to future generations, while valuing the sentiments and traditions of our predecessors who pioneered and passed on this land.

There is a poem by Sakamura Shinmin: "Pray, and the flowers will blossom." The prayers and aspirations of many townspeople have led to the blossoming of many flowers in Miyoshi. We will continue to pray for the development of the town and the happiness of the townspeople and to work tirelessly to inspire a grand blossoming by the next centennial. We will continue to work with the townspeople to build an attractive community, one that inspires everyone from children to the elderly to nurture dreams and hopes.

We express our profound gratitude to all contributors, in hopes that this publication will further nurture love for our hometown. It is hoped that people from outside Miyoshi will also discover the town's promise hereby.



三芳町長

林 伊佐雄



発行/三芳町 令和4年3月

企画・編集/三芳町

〒354-8555 埼玉県入間郡三芳町大字藤久保1100-1

TEL 049-258-0019

URL <http://www.town.saitama-miyoshi.lg.jp/>

印刷/岩岡印刷工業株式会社

写真協力/千代田 路子 様(竹間沢車人形)

※取材・撮影は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮し実施しています。